

事業名	令和5年度第3回 SSR 等担当教員研修会
開催日	令和5年11月28日（火）
会場	いわき合同庁舎

今年度3回目となるSSR等担当教員研修会が開かれました。

今回は、市内12校の小中学校の先生方に加え、市教委、市総合教育センターで不登校対策に取り組む指導主事等も集まりました。学校現場や行政、それぞれの立場から現状や課題などについて、意見交換を行いました。



↑研修会の様子です

↓各校のスペシャルサポートルームです あたたかい雰囲気子どもたちを迎えます



参加者からは、「学級づくりは非常に大切。グループエンカウンターやQ-Uテストの分析と活用など、校種や担任の経験の差に関わらず、担任みんなが居場所作りや不登校の未然防止を考えていけるようにしたい。」「小中の連携を円滑にし、子どもも保護者も安心して進学できるようにするために、2学期の早い段階から情報交換や引継ぎを丁寧に行っていくよう心がけている」などの好事例が出されました。協議を通して改めて、

- ①子どもたちやその保護者に寄り添い、じっくりと耳を傾ける姿勢の重要性
- ②スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等も含めた、学校の組織的な関わり方の構築
- ③行政がそれぞれ行っている取組の連携や情報交換などの充実

が大切であると認識することができました。不登校は、その数ではなく、一人一人の子どもに目を向けていくべきものです。今後もそのことを意識しながら取り組んで参ります。